

体感。感動。感謝。NBUのCOC事業をお伝えします。

# coc-nbu.jp

August 2016 Nippon Bunri University, COC MAGAZINE

文部科学省  
地(知)の拠点



日本文理大学COC事業

おおいた、つくりびと



## 日本の将来を 私たちが考える。



「18歳選挙権」へ改正後、初の国政選挙。  
大分県議会について学ぶため、  
「おんせん県議会若者DAY」に参加。

No. 09





▲普段、なかなか接することのない両者。お互いの意見に興味津々。

## 初めての県議会、 知ることに関心が湧く。

**第** 24回参議院議員通常選挙の公示日がせまる6月20日。「18歳選挙権」となる初の国政選挙を迎え若者たちの動向に注目が集まる中、大分県議会が主催するイベント「おんせん県議会若者DAY」が開催され、大分県内の大学生・短大生などが参加。NBU日本文理大学からも、工学部建築学科の1年生7名が大分県議会本会議場へと向かった。普段、馴染みのない本会議場に初めて足を踏み入れ、演壇に立ったり、議長席から周囲を見渡すなど、興味津々の学生たち。

第一部は大分県議会議員の代表者から、役割や仕組み、活動内容を紹介してもらう。災害現場の調査に向いたり、議員の方が自ら防災士の資格取得に励んでいるエピソードなどを聞き、議会だけではなく幅広い活動を知った学生たち。休憩の間には



▲「大分県を輝かせるために、アイデアをどんどん出してほしい」と期待を寄せる県議の皆さん。

「議会だけが仕事だと思っていたのに、すごく忙しそうで…ハードな仕事だと思った」「知らないから関心を持ってなかったのかも…」と当初、抱いていたイメージとのギャップに驚いていた。

## 県議会議員の皆さんと 本音で語る、意見交換会。

**第** 二部は会場を県議会委員会室に移し、3つのグループに分かれて、学生と県議会議員の意見交換会が行われた。他大学の学生たちと一列に並び、テーブルを挟んで県議会議員の皆さんと向き合う形で始まった意見交換会。最初は緊張気味だった学生たちだが、次第に自分の考えを、自分の言葉で語り始める。最初の話題は熊本地震から考える防災意識について。大分県でも由布市、別府市に大きな被害をもたらしただけに関心は高いようだ。「僕は建築学科で建物の耐震性などについて学んでいますが、今回の地震で大分県内の建物の被害状況はいかがでしたか？」と建築学科の学生ならではの質問が投げかけられた。議員の方からは、調査報告とともに「日本の未来の建築を担うあなたたちにお願ひがあります。今回の地震で感じたこと、必要だと思った耐震性や防災性を、ぜひ大学で

# 政治や選挙と向き合う、 それは日本の未来を考えること。

「おんせん県議会若者DAY」に参加。彼らがそこで学び、感じたこととは…。

選挙権が18歳以上となり初の参議院議員通常選挙を前に、大分県内の大学生が集う「おんせん県議会若者DAY」にNBU生も参加。大分県議会議員の皆さんとの意見交流会も実現した。学生の視点で考える大分県の問題点や可能性、初めての選挙に臨むドキドキ感や素朴な疑問などを、自分たちで考え、自らの言葉で語ります。ここは、日本の未来を輝かせるためのスタート地点！



▲大分県議会の成り立ちや県議会議員の活動などを分かりやすく説明。

の研究に、そして社会人になって仕事に活かしてください」と激励していただいた。そして旬の話題はやはり今回の参院選へ。「皆さんの中には今回が初めての選挙の方もいらっしゃると思いますが、投票に行きますか？」という問いに、「ニュースで見ても、政治家に対してあまり良い印象が持てないんですよね…」と本音をポツリ。同席する関係者は若者の率直な意見に一瞬驚かされたが、「ほとんどの議員は国や県のために全力で働いていますよ!」とのベテラン議員の熱弁にその場が和んだ。



▲他大学の学生たちの意見や考え方もNBU生にとってはおおいに刺激となったよう。

## 「なぜ選挙に行くの?」に 答えられる大人になりたい。

**意** 見交換会も終盤にさしかかった頃、NBUの女子学生が今日のイベントに参加した感想を求められた。少し考えた後、自分の気持ちを確かめるようにゆっくりとこう言った。「正直、政治のことはよく分かりません。だから…自分に選挙権があるということも不思議な気がします。でも今日、このイベントに参加したことで、政治や選挙に参加する意味を考えるきっかけになったと思います」。優等生的な発言ではないかも知れないが、自分が感じたありのままを伝える。それは若者にとって、かけがえのないことなのかもしれない。

イベント終了後、「大分県18歳からの選挙」実行委員会と大分県選挙管理委員会が企画した「18歳からのハロー選挙座談会」に、今回が選挙デビューとなる児玉流石さんがNBU生を代表して登場。「ポスターを



▲当日はテレビ局、新聞社の取材陣も多く、話題はやはり「18歳選挙」について。



▲現場の生の声を聞いたことで、選挙へ抱いていた先入観が塗り替えられていく。

見ても候補者の主張が分かるわけではありません。車の中から手を振ったり、名前を連呼したり、大変だなとは思いますが、私たち若者はそれよりも政策や政治家としての姿勢を言葉で伝えることに時間を割くことが必要だと感じるんです」と鋭い意見を述べた。他大学の学生と、同世代ならではの本音のトークセッション。自分の親が選挙に行く姿を今でもはっきりと覚えていると語った彼は、最後にこう結んだ。「将来、家族を持って子どもができたとき、「なぜ選挙に行くの?」と聞かれたら、ちゃんと答えられる大人になりたいですね」。知らないことを学んだことで、興味が湧

き、自分事として捉える。どこか無関心を装っていた彼らの気持ちが次第に変わってゆく…。政治のことも、選挙への意義も、まだまだ分からないことは多い。でも、まず、アクションを起こすことで、すべては始まり、きっと日本の未来へとつながってゆく。



▲投票率が上がるかもしれないユニークなアイデアまで飛び出したNBU&amp;APU学生の座談会。

## NEWS

### 大分県による 18歳選挙権の啓蒙活動で NBU生が活躍!

選挙権が18歳以上になった今回の参議院議員通常選挙を前に、大分県でも若者の投票を呼びかけるPRやイベントが行われた。「選挙に行こうYEAH!」ショートムービーに出演したり、ショッピングモールでの選挙ガイドブック配布に協力するなどNBU生の活躍が光った。

●選挙ガイドブック配布



●「選挙に行こうYEAH!」ショートムービー



学生たちの活躍は、NBUのCOC特設サイトをチェック!



# キラリびと

『おおいた、つくりびと』で活躍する学生、  
教職員、地域の皆さんにインタビュー。

## 09



工学部 建築学科1年  
**児玉 流石**

**Q.**「おんせん県議会若者DAY」に参加した感想は？

**A.** 僕は最近まで、選挙権があっても別に投票に行かなくてもいいんじゃないかと思っていたのですが、今回のイベントに参加して、県議会議員の活動や、選挙の意義を学んで、自分の一票がとても重いものだと感じるようになってきました。どうせ一票では変わらないだろうと無関心を装うのか、この一票で何かが変わるかもしれないと信じるのか。一票の尊さを実感するためには、選挙のときだけでなく、普段から政治や社会で問題になっていることに、自分なりの考えを持つことが大切だと思いました。

**Q.** 今回が初めての投票ですが、選挙については？

**A.** 投票の仕方や不在者投票などがあることも知らなかったので、ニュースを見たり、友だちに聞いたりしながら勉強しています。よく街

頭で演説会が行われていますが、僕はあまり聞く気にはなれません。演説は一方通行なので、こっちが聞きたいことが…と思ってしまう。だから投票するうえでマニフェストが重要な判断基準になります。もちろん、それぞれの候補者の政策や政治家としての姿勢をしっかりとチェックすることも大切だと思います。

and more...



### PICK UP! COCプロジェクト

2016.06.03 **初夏のエネルギーで育つ“感じる心”**

佐賀県地域「地域の小学生とのアサギマダラ探し」

佐賀県半島に「アサギマダラ」(蝶)が飛来してくることを知った学生。地元の小学生を連れて登り坂を歩く。「もう、歩けん〜」歌やクイズでなだめながら、ようやく、海拔120mに位置する海星館に到着。「本日のミッションは、マーキングされた蝶の発見です」「2000キロの旅をしてきたんだよ。みんなが今歩いた距離は5キロ」説明を聞いて、子どもたちは驚いた顔を見せる。目の前でひらひらと舞っている蝶のどこにそんなパワーが潜んでいるのか…?自分たちをはるかに超越している存在だと感じ、さらに好奇心をふくらませた子どもたちは、より一層観察に力が入った。

海星館にある、巨大望遠鏡。覗き込むと、太陽の周辺に輝くプロミネンスが見える。遠い宇宙との距離が少し縮まった気がした。「君たちは、溢れんばかりのエネルギーを何に注ぐのか?」学生の心に、宇宙から強烈なメッセージが届いたようだ。人間って、なんてちっぽけで弱いものなんだろう。でも…「感じる心」「夢」を持っているのが人間なんだ!



まだまだあります!  
大分県内をステージに進行中の  
プロジェクトが盛りだくさん。

- 現代版あぜづくり
- 初夏の風物詩のどんこ釣り大会
- 森林ボランティアで学んだこと

etc...

くわしくはNBUのCOC特設サイト **coc-nbu.jp** へ